



大竹・栗谷線バスで自然あふれるまち、栗谷へ

問い合わせ 大竹市地域公共交通活性化協議会(自治振興課内 ☎2142)

大竹・栗谷線バスは、栗谷地区、松ケ原地区と沿岸地域を結ぶ路線バスです。

平成26年3月号で平成25年度上期の運行状況をお知らせしましたが、今月は平成25年度下期、年間の運行状況をお知らせします。

運営状況

平成25年度下期(10月から3月までの6カ月間)の運行経費は約649万円、前年度下期と比べ約30万円増加しています。

一方、運賃収入は約102万円で、前年度下期と比べて約6万円増加しています。

運行経費に対する運賃収入の割合(収益率)は15.8%で、前年度下期と比べて0.2%増加していますが、年度で比べると収益率は減少しています。

平成21年度からの5年間の運営状況を見ると、運行経費は燃料・油脂の高騰などの増額により、平成21年度からの5年間で約85万円(約7%)増加しています。

一方、運賃収入は、5年間で約64万円(23%)減少しています。

運行経費は増加傾向で運賃収入は減少傾向のため、収益率は減少傾向で、平成25年度は最も低くなっています。

平成21~25年度(上・下期)運営状況

		平成21	平成22	平成23	平成24	平成25
運行経費 (千円)	上期	6,068	6,047	6,600	6,438	6,254
	下期	5,825	5,991	6,371	6,192	6,495
	合計	11,893	12,038	12,971	12,630	12,749
運賃収入 (千円)	上期	1,579	1,215	1,058	1,291	1,108
	下期	1,196	1,129	1,160	968	1,024
	合計	2,775	2,344	2,218	2,259	2,132
収益率 (%)	上期	26.0	20.1	16.0	20.1	17.7
	下期	20.5	18.8	18.2	15.6	15.8
	合計	23.3	19.5	17.1	17.9	16.7

利用者数

平成25年度下期の6カ月間で、536人の方にご利用いただきました。前年度下期と比べて約100人(約4%)増加し、1便あたりの利用者数は1.9人で、前年度下期と比べて0.1人増加していますが、

年度で比べると利用者数、1便当たりの利用者数とも減少しています。平成21年度からの利用者数を見ると、毎年減少し続けており、平成21年度に比べて約3,300人(約39%)減少しています。

平成21~25年度(上・下期)利用状況

		平成21	平成22	平成23	平成24	平成25
利用者数 (人)	上期	5,040	3,350	2,873	3,219	2,683
	下期	3,532	3,166	3,097	2,428	2,536
	合計	8,572	6,516	5,970	5,647	5,219
1便あたり 利用者数 (人/便)	上期	3.2	2.1	2.1	2.4	2.0
	下期	2.2	2.2	2.3	1.8	1.9
	合計	2.7	2.1	2.2	2.1	1.9

※ 平成23年1月から平日を1便減便したため、「平成23」は一時的に1便あたりの利用が増加しました。

年々利用者が減少していますが、大竹・栗谷線バスが長く走り続けて

いけるよう、皆さんと一緒に守り、育てていきたいと考えています。

この夏休みは家族で大竹・栗谷線バスを利用して、自然に囲まれた蛇喰(くいは)でのびのび過ごし、マロンの里でマロンソフトを味わいながら、リフレッシュしてみませんか。

※ ダイヤや運賃表は車内、自治振興課、各支所で配布しています。また、市ホームページでも見る事ができます。

定時定路線バスの車両変更にご注意ください

市内を走る定時定路線バスは、こいこいバス、大竹・栗谷線バス、坂上線バス(岩国市と共同運行)、栄ぐるりんバスがあります。

こいこいバスは、オレンジの車体に市章と鯉のロゴマーク、大竹・栗谷線バスは、青系の車体に「マロンの里・玖波駅・大竹駅 大竹市委託運行」の表示、坂上線バスは、クリーム系の車体に「路線バス 鮎谷・大竹駅間」の表示、栄ぐるりんバスは、緑系の車体に「栄ぐるりんバス」の表示をしています。

これらのバスは、点検や修理などのため、止むを得ず代替車両で運行することがあります。

代替車両は、貸切バスにマグネットを貼り付けて運行します。ので、お間違えのないよう、お気を付けてください。